

居心地よい環境チェックリスト【保護者活用版】

〈 チェックリスト作成時の留意点 〉

- ・お子さんの意思を確認しながら作成する。
- ・もし、お子さんが学校に関する話題を出すことも辛そうな状態の場合は、無理をせず、保護者のみで作成する。チェックするという行為自体がお子さんの負担にならないよう留意する。

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(抜粋)

(学校以外の場における学習活動等を行う不登校児童生徒に対する支援)

第十三条 国及び地方公共団体は、不登校児童生徒が学校以外の場において行う多様で適切な学習活動の重要性に鑑み、個々の不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、当該不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう、当該不登校児童生徒及びその保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。）に対する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うために必要な措置を講ずるものとする。（下線加筆）

校長先生及び関係する先生方へ

日頃より、子どもたちの健やかな成長に御尽力くださり、厚くお礼申し上げます。
 さて、我が子は現在、毎日学校に通うことが難しい状態です。
 保護者として、我が子が毎日安らかに、笑顔で楽しく過ごすことを大切にしたいと考えております。
 そのため、学校との連絡方法など、当面の間は次のような方法を取れたらと考えております。
 下記の内容は、あくまでも家庭としての希望です。学校において対応が難しいこともあるかと思しますので、「**子どもが伸び伸びと成長できる環境**」を共通目標として、一緒に話し合っ
 ていけたらと考えております。子どもの気持ちや状況の変化に応じて、修正していく可能性が
 ありますことを、御理解くださいますようお願いいたします。

1. 出欠連絡の方法について
 (連絡方法： アプリ ・ 電話 ・ メール ・ その他)
 登校する日に連絡 欠席する場合に連絡 毎日連絡
 その他 ()
2. 登校刺激（登校を促す学校からの行動）や家庭訪問について
 子どもの状況を鑑み、控えていただきたいです。
 本人が希望するものだけ行ってください。
 (希望内容：)
 学校として必要と考えるものは、事前に保護者へ相談してください。
3. 学校として最低限必要な「子どもの現認確認（安否確認）」について
 次の方に行っていただきたいです。
 担任教員 / 担任教員以外の教員 / スクールカウンセラー
 主治医 / 地域の民生児童委員
 その他（その方の所属とお名前：)
4. 授業プリントや手紙などの受け渡しについて
 (1) 受け取る頻度
 毎日 / 週1回 / 月1回 / 学期毎 / その他
 (2) 受け取りたいもの
 授業プリント / クラスだよりなど / テストや家庭学習 / その他
 (3) 受取方法
 家庭が学校に伺う / 家庭に届けていただく（投函・対面） / その他

5. 登校の際に配慮していただきたいこと

子どもが安心できる、あるいは落ち着かない環境は、次のとおりです。登校した際には、これらを踏まえてご対応いただけると幸いです。

* 安心できる環境には「○」、落ち着かない環境には「-」を記入しています。

	同年齢との交流		異年齢との交流
	一人で内省する時間		体を動かすこと
	深く考えること		なにかを作ること
	競い合う環境		協力し合う環境
	独立的な環境		協調する環境
	威圧的な環境		穏やかな環境
	賑やかな環境		静かな環境
	その他		

また、次のような状態に強いストレスを感じます。

可能な範囲での合理的配慮について、御検討していただけるとありがたいです。

●特にストレスを感じる環境

6. 給食（給食費）について

- 毎月定額を支払う / 日割り計算で支払う / 支払いを止める
 その他

※（お住まいの市町村名）で定める条例及び規則に沿って、御相談させていただけたらと考えております。

7. 教材（教材費）について

- 全て購入する / 必要な教材のみ購入する
 購入せず、必要に応じて課程で調達する / その他

8. 必要としている情報又は提供したい情報について

- 地域又はオンラインのフリースクール情報 欲しい / 家庭から提供可能
 地域又はオンラインの不登校の親の会情報 欲しい / 家庭から提供可能
 その他 学校外の学びの場情報 欲しい / 家庭から提供可能
 不登校・登校をしぶる子の保護者と繋がりたい
 その他（)

9. その他御相談したいこと

保護者としての願い

子どもの成長について、次のように願っております。

* この他、特にお願いしたい事項や、お目通しいただきたい資料があれば、別途お渡しいたします。